

令和4年大船渡市教育委員会第5回定例会会議録

1. 日 時

令和4年5月24日（火） 午後1時30分から午後2時40分まで

2. 場 所

大船渡市役所 教育委員会会議室

3. 出席委員の氏名

教 育 長	小 松 伸 也
教育長職務代理者	柏 崎 正 明
委 員	村 谷 志 保
委 員	鈴 木 晴 紀
委 員	清 水 恵 子

4. 説明等のため出席した職員

教 育 次 長	遠 藤 和 枝
学 校 教 育 課 長	佐 藤 真
生 涯 学 習 課 長	山 岸 健悦郎

5. 議 事

議案第1号 大船渡市社会教育委員の委嘱に関し議決を求めることについて

6. 報告事項

(教育次長)

① 令和4年度大船渡市立博物館 教育普及事業「海辺の生物観察会」の開催について

(学校教育課)

① 県教育委員会と市町村教育委員会との意見交換（令和4年度第1回）について

② 岩手県学校教育ICT推進協議会（令和4年度第1回）について

③ 令和4年度児童生徒数と学級数について

(生涯学習課)

① 令和3年度大船渡市民交流館・カメラアホールの利用状況について

② 令和3年度大船渡市立三陸公民館の利用状況について

③ 令和3年度大船渡市スポーツ施設等の利用状況について

④ 令和4年度青少年体験学習事業（英語スクール）「英語体験教室」の開催について

7. 会議の概要

(教育長)

- ・令和4年大船渡市教育委員会第5回定例会の開会を宣言する。
- ・令和4年第4回定例会の会議録について、質問、意見を求めた結果、教育委員の承認を得る。
- ・諸報告事項について、事務局等の説明を求める。

(教育長)

- ・令和4年度岩手県市町村教育委員会協議会総会について口頭により報告する。

(教育次長)

- ・別添資料等により報告する。

(学校教育課長)

- ・別添資料等により報告する。

(生涯学習課長)

- ・別添資料等により報告する。

(教育長)

- ・追加報告を求める。
- ・追加報告がないことを確認後、報告事項についての質問、意見を求める。

(教育長職務代理人)

- ・「海辺の生物観察会」は、地域の生態系を知り、ふるさとの自然を理解する良い機会であり、また、前回実施した令和元年との比較を行うことによって、浦浜海岸の生態系の変化を理解し、子どもたちの自然保護への関心がより一層高まるすばらしい事業だと思う。

(教育次長)

- ・学術的な価値もあり、コロナ禍でも何とか開催したいと思っている。

(委員)

- ・統合型校務支援システムとは、学校運営に係る全ての業務を行うシステムなのか。当市でも導入せざるを得ない状況になっているのか。

(学校教育課長)

- ・県では、全県同一歩調で推進していきたい意図はあるようだが、現段階では、当市が導入するかどうかは未定である。

(教育長)

- ・既に他市町で導入しているところがあるが、メーカーがまちまちで県内で統一できるか難しいと思われる。県教委としては、令和6年度の運用を目指しており、財政支援がどこまでできるかという問題点がある。

(委員)

- ・英検の資格を持っている英語教員の割合はどのくらいか。

(学校教育課長)

- ・データはあると思うが、今は手持ちがない。

(委員)

- ・岩手県教職員働き方改革プランで、時間外在校等時間の縮減が掲げられているので、

管理職は教職員の勤務状況について把握しておくことが大事だと思う。

- ・陸前高田市のひろたハマラインパークは、市内の学校の利用状況はどうか。

(学校教育課長)

- ・5年生の宿泊研修の計画で利用する学校がある。今後は、気仙地区中総体のテニス会場がハマラインパークに変更になるなど利用が促進されていくと思う。

(委員)

- ・幼保小の架け橋プログラムは、全ての5歳児に学びや生活の基盤を保障し、幼保小接続で1人1人の発達を把握、早期支援につなぐ、素晴らしい取り組みだと思う。今後は、幼稚園と同様に保育所や認定こども園でも一律に学習基盤が保証されるのか。

(学校教育課長)

- ・今年度始まった事業なので、詳細は分かりかねるが、当市ではすでに幼保連携プログラムを実践しており、小学校と幼稚園、保育園との連携を図っている。今後、具体的なものが提示された場合は、定例会で報告する。

(委員)

- ・「令和4年度学び改革プロジェクト」の中でICTを活用した新たな学びの推進として、電子黒板の設置が有効に活用されていると感じた。
- ・1人1台端末の持ち帰りについて、6月から実施するということであるが、Wi-Fi環境が整っていない家庭への対処、フィルタリング機能の活用をどのように考えているか。

(学校教育課長)

- ・電子黒板は、一学期中を目途に全学級に配置予定である。
- ・1人1台端末の持ち帰りは、オフラインで使用できる環境からスタートし、今後、学習方法の一つとして定着し、Wi-Fi環境が必要になっていくことを家庭にも理解を深めてもらうところからと考えている。フィルタリングは、設定済みでアプリもインストールできないため、安全に使用できる。
- ・教職員の超過勤務縮減は、管理職の協力が非常に重要であり、働き方改革プランの推進に理解を求めていく。

(委員)

- ・複式学級になったり、児童数の減少が著しい小学校は、大船渡市立小・中学校適正規模・適正配置基本計画により、今後5か年で解決しなければならない課題があると思うが、新年度が始まり、保護者の様子や今年度の目標設定などがあれば教えてほしい。

(学校教育課長)

- ・計画では、小学校が複式になった段階で、家庭や地域と協議をしていくことになっており、対象は吉浜小学校と日頃市小学校になる。児童数の減少著しい大船渡北小学校と大船渡小学校は、中学校の統合も合わせて、時期等について検討していく必要がある。

(教育長)

- ・複式学級は、複式の組み方など様々な課題等があり、また、統合はPTAや学校運営協議会など色々な考え方を持っている人に、理解をしていただくのが難しいところはある。今年度は、統合の在り方などをある程度示していかなければと考えている。

(教育長職務代理者)

- ・カメラホールの利用状況について、平成 27 年度から盛地区公民館が多目的ホールなどを占有する日が増えたが、一般利用者から何か意見は出ていないか。

(生涯学習課長)

- ・一般利用者からの意見は特に聞いていないが、手続きが煩雑になっている。震災で社会教育施設が被災し、活動場所がカメラホールに集中してしまい、盛地区公民館の活動ができないとのことだったが、落ち着いてきたので従前のおり貸し出しできないか、盛地区公民館と協議を始めたところである。

(教育長)

- ・その他、質問、意見がないことを確認後、諸報告を終了する。

(教育長)

- ・開議を宣言する。
- ・日程第 1、会期の決定について、会期を 1 日とする。
- ・日程第 2、議案第 1 号について説明を求める。

(生涯学習課長)

- ・議案第 1 号 大船渡市社会教育委員の委嘱に関し議決を求めることについて、説明する。

(教育長)

- ・議案第 1 号について、質問、意見を求める。
- ・質問、意見がないことを確認後、議案第 1 号について諮る。
- ・全員異議がなく、議案第 1 号を原案どおり可決する。

(教育長)

- ・その他、質問・意見等がないことを確認後、議案審議を終了する。
- ・令和 4 年大船渡市教育委員会第 5 回定例会の閉会を宣言する。

会議録作成者 教育長 小松伸也

会議録署名者 教育長

教育長職務代理者

委員

委員

委員